

別紙 1

平成 27 年度水産工学関係研究開発推進会議
漁業生産技術部会・水産業システム研究部会 \ 合同部会

テーマ: 漁業生産現場における労働問題の今

【開催趣旨】

我が国の漁業は、主要資源水準の低下、魚価の低迷、生産コストの増大、担い手の不足など多くの課題を抱えている。このような中で、最も重要かつ緊急に取り組まなければならない課題でありながら、問題点の整理や対策活動の組織化が遅れているのが、漁業労働の問題であろう。漁業労働の問題は大きく分けて、(1) 労働者のリクルート、(2) 生産活動の効率化、(3) 軽労化（作業負担の適正化）、(4) 労働現場の安全性の確保、の 4 つに絞られる。本推進会議では、漁業労働の問題に対する実践的な方策について議論し、改善に向けた糸口を得ることを目的とする。漁業労働にまつわる現場の様々な問題を取り上げ、陸上産業等における労働環境改善のノウハウを活用するなどして、漁業労働の問題を改善に導いていくための有効なアプローチを探る。

【開催日時】平成 27 年 11 月 13 日（金） 13:00-18:00

【開催場所】エッサム神田ホール 3 階 大会議室

〒 101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2 TEL : 03-3254-8787

【議 事】(司会進行：水産工学研究所 高橋 秀行)

13:00 開会挨拶

水産工学研究所所長 前野 幸男
(5 分)

13:05 水産工学研究所 漁業生産工学部・水産業システム研究センターの紹介

水産工学研究所 漁業生産工学部長 東 照雄
(5 分)

13:10 平成 27 年度水産工学関係研究開発推進会議合同部会開催趣旨説明

水産工学研究所 水産業システム研究センター長 上野 康弘
(5 分)

13:15 漁業労働の現状と課題

水産庁 漁政部 漁政課 課長補佐（漁業労働班担当） 山内 精
(発表 25 分・質疑 5 分)

13:45 漁業就業支援の現状と課題

全国漁業就業者確保育成センター 業務部長 木佐貫 正博
(発表 20 分・質疑 5 分)

14:10 沖合底びき網漁業の労働の問題

島根県水産技術センター 漁業生産部 海洋資源科長 沖野 晃

(発表 15 分・質疑 5 分)

14:30 WIB (船内向け自主改善活動) の広がり

高崎経済大学 経済学部 教授 久宗 周二

(発表 25 分・質疑 5 分)

15:00 職場改善のノウハウと漁業現場への応用

首都大学東京 システムデザイン学部 准教授 渋谷 正弘

(発表 25 分・質疑 5 分)

15:30 軽労化研究の意義と漁業への応用

北海道大学大学院 情報科学研究科 准教授 田中 孝之

(発表 25 分・質疑 5 分)

(16:00-16:10 休憩)

16:10 漁業生産システムと作業改善

水産工学研究所 水産業システム研究センター 研究員 田丸 修

(発表 15 分・質疑 5 分)

16:30 漁労作業の特徴と改善方策の考え方

水産工学研究所 水産業システム研究センター 主任研究員 高橋 秀行

(発表 15 分・質疑 5 分)

16:50 労働安全を考慮した漁船船体設計の考え方

水産工学研究所 漁業生産工学部 主任研究員 三好 潤

(発表 15 分・質疑 5 分)

17:10 漁労作業機械の安全対策技術

株式会社 興洋 田山 潤・冨塚 義尚

水産工学研究所 漁業生産工学部 漁船工学グループ長 長谷川 勝男

(発表 15 分・質疑 5 分)

17:30 総合討論

(司会進行 : 水産工学研究所 高橋 秀行・上野 康弘)

18:00 閉会挨拶

水産工学研究所 業務推進部長 寺脇 利信

(案 1 ・ 2 の別紙 2)

FAX 送信先 : 0 4 7 9 - 4 4 - 6 2 2 1

水産工学研究所 (水産業システム研究センター長) 宛

平成 年 月 日

平成 27 年度水産工学関係研究開発推進会議
漁業生産技術部会・水産業システム研究部会 合同部会
参加申込書

機 関 名 : _____

連絡者名 : _____

T e l : _____

F a x : _____

E - m a i l : _____

以下の者が参加します。

職 名	氏 名	備 考

上記欄に必要事項をご記入の上、平成 27 年 10 月 23 日 (金) までに
FAX にてお申し込みください。

担当 水産工学研究所 水産業システム研究センター長
上野康弘

〒 314-0408

茨城県神栖市波崎 7 6 2 0 - 7

Tel 0 4 7 9 - 4 4 - 5 9 4 1

Fax 0 4 7 9 - 4 4 - 6 2 2 1